

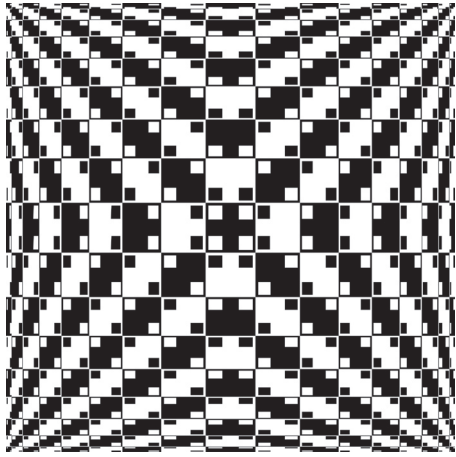
心の働きにせまる不思議な世界

# 錯覚展

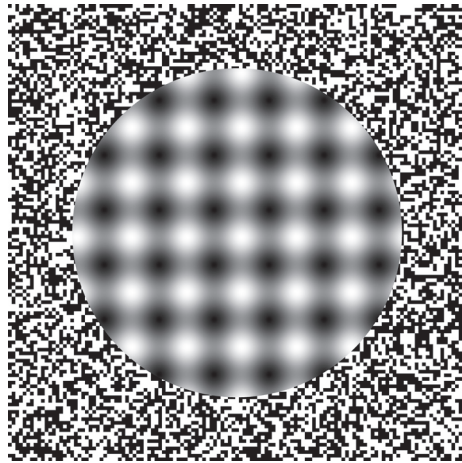
7/16  
(土)



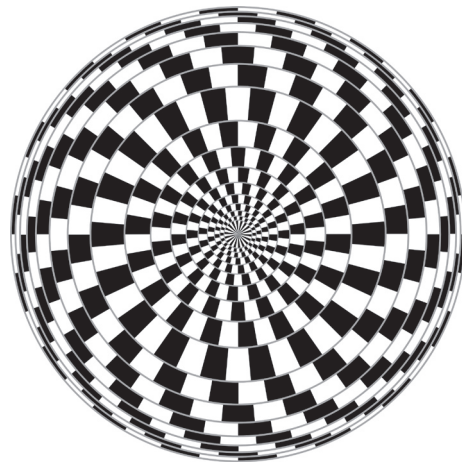
9/18  
(日)



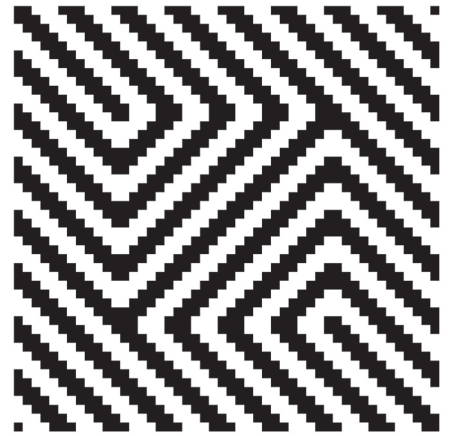
北岡明佳「クッション」  
すべて正方形が長方形でできているが  
カーブが感じられる



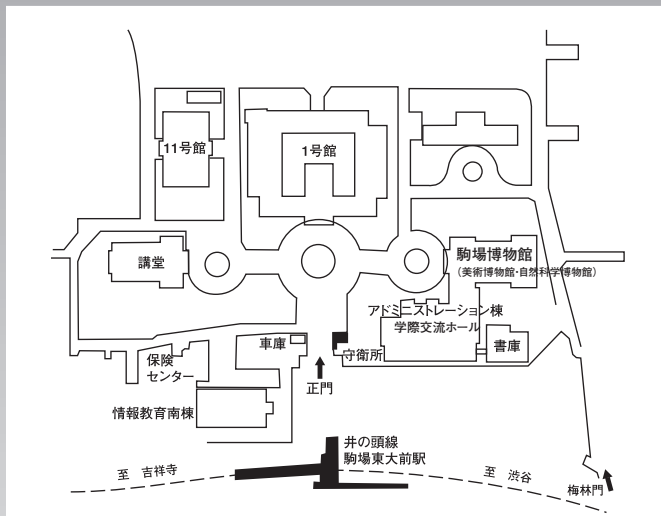
北岡明佳「ピンボケ」 中が動いて見える



北岡明佳「渦巻きアンパン」  
灰色の同心円が渦巻きに見える



北岡明佳「階段」 中が動いて見える



この夏、駒場博物館の自然科学博物館と 21 世紀 COE 「心とことば-進化認知科学的展開」のスタッフが中心となって、中高校生の皆様にも楽しんでいただけるような夏休み企画としてお届けするイベントが「錯覚展-心の働きにせまる不思議な世界」です。

日常的に錯覚と言うと、「まるで外国へ行ったような錯覚を起こす」のように事実とは異なるが、そうであるかのように思うことを意味します。一方、心理学や認知神経科学の領域では、たんなる思い違いや勘違いにとどまらず、外界の客観的（物理的）な事象とそれに対する心理的な知覚の間のズレを錯覚現象として研究します。

錯覚は様々な感覚で生じますが、今回の展覧会では、静止図形や運動図形に対する錯視と音に対する錯聴のデモンストラーションを来場者に実際に体験してもらいます。とくに、今回は錯視デザインで有名な北岡明佳さんのオリジナル錯視図形作品を多数出展します。その上で、解説コーナーで心や脳の働きについて学んでもらう予定です。赤ちゃんや動物にも錯覚があるのか、どんな文化でも錯覚は共通か、などといった問題にも Q&A パネルで説明します。

なお、8月6日（土）13時から、公開シンポジウム「イリュージョン：錯覚から知る心と脳の働き」（会場：学際交流ホール）を開催する予定です。